

モデリングキャスト仕上2



生地の研究を終えたら塗装作業です。

今回は下地にドールフィニッシャー胡粉(アクリルベースの液状胡粉で質感が良く強い仕上げを得られます)を使い、油彩で仕上げ塗装をします。



液状胡粉にアクリル絵具で下地の着色をします。

吸込みの良い下地なので、刷毛塗りの場合には刷毛目の出ない程度の薄い濃度で2~3回塗り、吸込みが収まってきたら塗料濃度を少し上げ、色むらがなくなるまで重ね塗りをします。エアブラシで塗装する際は濃度を1.5~2倍程度にすると良いようです。

ブラシの口径は0.6~1.0mm程度が適当です。



油彩の着色はファンデーションを塗るようにスポンジ等で薄く展ばします。グラデーションを綺麗に出すために数回に分けて塗りましょう。

面相はペインティングオイルを使い、やはり数回に分けて加筆していきます。



塗装作業の完了です。

塗料のタッキング(上塗りののはがれ)を防ぐために、「受け」の部分は厚塗りしないようにします。

また頭髪を貼る際に接着性を良くするために頭部生え際の内側にも油彩は塗らないで下さい。



次は植毛の作業です。

好みのヘアスタイルに従って段目を決めていきます。

今回使用するのはモヘア(羊の毛)でボリュームが出やすいので、少し粗めの段にします。

頭頂部につむじのために浅く彫りを入れておきます。



ウェフティングヘア(みの状に縫われた毛)を切り木工用ボンドを3mm程度薄く付けてコテで抑えます。



1段目2段目とも同じ要領で貼っていきます。



3、4段目以降はカーブがきつくなってくるので、写真のようにひとつの毛束が楔形になるようにして、全ての毛が中心を向くようにします。





つむじを作ります。適量の毛束(束にして5mm程度)をまとめて糸で括ります。



毛先を4~5mm程度で平にカットし、側面を2~3mm程度接着剤を付け、毛の広がりを押さえます。



断面に一樣に接着剤を付けコテでしっかり固定します。



断面が固定したらあらためて新聞紙等に接着し、まとめていた糸を切り、均等に開きます。



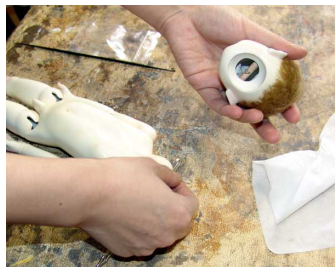
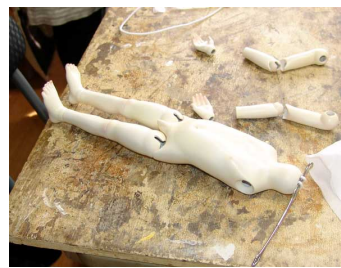
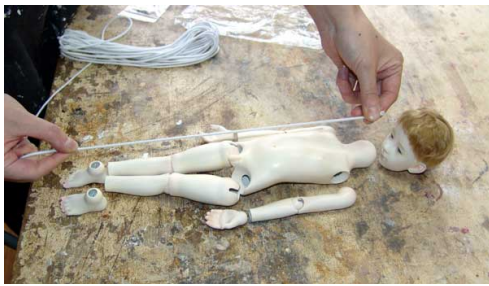
静かに紙から離し、整えればつむじの完成です。



ゴム系の接着剤で頭頂部に貼り付け、植毛の完成です。



ヘアのカット作業です。
モヘアは広がりやすいので、スタイリング剤等を用いてボリュームを抑えながらカットしていきます。
仕上げにヘアアイロン等を使います。



いよいよ最後の組立作業です。
パーツを並べ、丸ゴム(今回は3本丸)を伸ばして引きの強さを決めます。
手足先にS字フックを取付けます。
結び目を下にして足先からつないでいきます。
今回は手首に結び目が通らないので、腕はボディの中に結び目がくるようにつなぎます。
最後にヘッドをつなげて(怪我をしやすい箇所なので要注意)完成です。

モデリングキャスト仕上2

